

土木建築部

R3. 10 評価基準表[標準例]

【基本型】

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (土木工事) ※朱書きが変更箇所

【予定価格：5千万円以上8千万円未満】

Main evaluation table with columns for '評価視点' (Evaluation Perspective), '評価項目' (Evaluation Item), '評価基準' (Evaluation Criteria), and '施工実績等評価タイプ' (Construction Record Evaluation Type) with sub-columns for '配点' (Point Allocation) and '工事種別' (Work Type).

別表1 令和3年度 評価基準表 [標準例] (土木工事) ※朱書きが変更箇所

【予定価格：8千万円以上2億円未満】

※8千万円以上1億円未満の工事については、『【選択項目】過去2年間の
□□部契約後V E提案採用の有無』は評価項目としない。

評価視点	評価項目	評価基準	施工実績等評価タイプ																
			配点																
			工事種別																
		一般土木工事等		舗装工事 橋梁下部工補修工事 地すべり対策工事 床版・PC(RC)補修工事 鋼橋上部補修工事 法面表面浸食工事				橋梁新設工事 ・PC橋上部工事 ・鋼橋上部工事				トンネル工事 ・海洋土木工事		その他特殊工事 ・堰(鋼構造物) ・電気通信等					
企業の技術力	施工計画	施工管理に係わる技術的所見(選択項目) 施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。																
	企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 過去4年間の工事成績評定点の平均値 ※評価期間：H29.4.1~R3.3.31	国又は大分県発注工事の実績あり 0.5 国又は大分県発注工事以外の公共工事の実績あり 0.0		1.0 0.5 0.0 2.0 1.8 1.6 1.3 1.0 0.0				2.0 1.0 0.0 2.0 1.8 1.6 1.3 1.0 0.0				1.0 0.5 0.0 2.0 1.8 1.6 1.3 1.0 0.0		1.2 0.6 0.0 2.0 1.8 1.6 1.3 1.0 0.0				
	※【選択項目】を選択した場合は、配置予定技術者の同種工事の施工経験の有無の配点を減ずる。	指名停止措置の有無 ※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止 【選択項目】過去2年間の□□部契約後V E提案採用の有無 ※発注する△△工事に限る。	0.0 0.0 -0.2(減点) -0.5(減点) 0.1 0.0		0.0 0.0 -0.2(減点) -0.5(減点) 0.1 0.0				0.0 0.0 -0.2(減点) -0.5(減点) 0.1 0.0				0.0 0.0 -0.2(減点) -0.5(減点) 0.1 0.0		0.0 0.0 -0.2(減点) -0.5(減点) 0.1 0.0				
	加算点小計		3.0 3.1		3.0 3.1				4.0 4.1				3.0 3.1		3.2 3.3				
	配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 主任(監理)技術者の保有する資格	国又は大分県発注工事の実績あり 0.7 0.6 0.8 0.7		1.5 1.4 1.3 1.2 0.8 0.7 0.7 0.6				1.8 1.7 2.0 1.9 0.9 0.9 1.0 1.0				1.5 1.4 0.8 0.7		1.0 0.9 1.8 1.7 0.5 0.5 0.9 0.9				
		過去4年間の工事成績評定点の最高点 ※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。 令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴 ※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。 CPD(継続教育)の取組状況 専門資格の保有 ※地すべり防止工事士、1級舗装施工管理技術者、コンクリート診断士、PC技士、のり面施工管理技術者 技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	1級土木施工管理技士等の資格保有 2級土木施工管理技士等の資格保有 1級(電気通信)施工管理技士の資格保有 2級(電気通信)施工管理技士の資格保有 上記以外		1.2 1.0 0.6 0.0				1.2 1.0 0.6 0.0				1.2 1.0 0.6 0.0		1.2 1.0 0.6 0.0				
			0.3 0.0		0.3 0.0				0.3 0.0				0.3 0.0		0.3 0.0				
			0.3 0.0		0.3 0.0				0.3 0.0				0.3 0.0		0.3 0.0				
			3.4 3.3 3.6 3.5		3.6 3.5 3.6 3.5				4.1 4.0 4.1 4.0				3.6 3.5		3.9 3.8 3.9 3.8				
	地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	建設業法上の主たる営業所(本店)の所在地 ※PC橋梁上部、鋼橋上部工事(補修工事を含む)及び鋼構造物工事は、主たる営業所(本店)に加え、自社工場の所在地も評価対象とする。	2.0 1.5 1.0 0.0		2.0 1.5 1.0 0.0				-				2.0 1.5 1.0 0.0		2.0 1.5 1.0 0.0			
		防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	1.0 0.5 0.0		1.0 0.5 0.0				-				1.0 0.5 0.0		-			
		県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画 ※請負代金額500万円以上のすべての下請契約 【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	0.2 0.0		0.4 0.0				0.2 0.0				0.4 0.0		0.2 0.0			
		県産資材の優先使用	※提示資材：□□□□ ※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	0.2 0.0		0.2 0.0				0.2 0.0				0.2 0.0		0.2 0.0			
		※選択しない場合は、【県内企業の活用】に配点する。 ※設計図書に基づき使用可能な資材に限る。 【選択項目】過去1年間のボランティア活動の有無	大分県産資材の使用計画あり 上記以外	0.2 0.0		0.2 0.0				0.2 0.0				0.2 0.0		0.2 0.0			
	ボランティア活動による貢献	※評価対象とする活動は、入札公告の際、下記から指定する。 ○小規模集落応援隊の活動	0.2 0.0		-				-				-		-				
加算点小計		3.6 3.4		3.4				1.9				3.4		2.9					
加算点合計			10.0		10.0				10.0				10.0		10.0				
施工体制評価点			15.0 0.0		15.0 0.0				15.0 0.0				15.0 0.0		15.0 0.0				
合計			25.0		25.0				25.0				25.0		25.0				

別表1 令和3年度 評価基準表 [標準例] (土木工事) ※朱書きが変更箇所 【予定価格：3億円以上5億円未満】

Table with columns for Evaluation Viewpoint (評価視点), Evaluation Item (評価項目), Evaluation Standard (評価基準), and Construction Plan Evaluation Type (施工計画等評価タイプ). It includes sub-sections for Construction Plan, Company Performance, Technical Ability, and Social Contribution, with detailed criteria and scoring points for various construction tasks.

別表1 令和3年度 評価基準表 [標準例] (土木工事) ※朱書きが変更箇所 【予定価格：5億円以上】

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ																																															
			配点																																															
			工事種別																																															
			一般土木工事等				舗装工事 橋梁下部工補修工事 地すべり対策工事 床版・PC(RC)補修工事 鋼橋上部補修工事 法面表面浸食工事				橋梁新設工事 ・PC橋上部工事 ・鋼橋上部工事				技術提案重視型				トンネル工事 ・海洋土木工事				その他特殊工事 ・堰(鋼構造物) ・電気通信等				技術提案重視型 ・堰(鋼構造物) ・電気通信工事																							
			評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点				評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点				評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点				評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点				評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点				評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点																											
企業の技術力	施工計画	施工管理に係る技術的所見(選択項目) 施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係る技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。																																															
	企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 過去4年間の工事成績評定点の平均値 ※評価期間：H29.4.1~R3.3.31	国又は大分県発注工事の実績あり 国又は大分県発注工事以外の公共工事の実績あり 上記以外																																															
	※【選択項目】を選択した場合は、配置予定技術者の同種工事の施工経験の有無の配点を減ずる。	指名停止措置の有無 ※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止 【選択項目】過去2年間の〇〇部契約後V E提案採用の有無 ※発注する△△工事に限る。	指名停止措置なし 指名停止措置あり(3箇月未満) 指名停止措置あり(3箇月以上) 実績あり 上記以外																																															
	加算点小計		6.0				6.2				8.0				8.2				6.2				6.4				6.0				6.2				6.4				6.6				3.8				4.0			
	配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 主任(監理)技術者の保有する資格	国又は大分県発注工事の実績あり 国又は大分県発注工事以外の公共工事の実績あり 上記以外																																															
		過去4年間の工事成績評定点の最高点 ※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。 令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴 ※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。 CPD(継続教育)の取組状況 ※地すべり防止工事士、1級舗装施工管理技術者、コンクリート診断士、PC技師、のり面施工管理技術者 技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	1級土木施工管理技師等の資格保有 2級土木施工管理技師等の資格保有 1級(電気通信)施工管理技師の資格保有 2級(電気通信)施工管理技師の資格保有 上記以外 8.5点以上の評価あり 8.0点以上8.5点未満の評価あり 7.5点以上8.0点未満の評価あり 上記以外(成績なし) 大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり 大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり 上記以外 取組あり(各団体推奨ユニット数以上) 上記以外 (評価資格) □□□の資格あり 上記以外 活用計画あり 上記以外																																															
	加算点小計		6.8				6.6				7.2				7.0				7.2				7.0				7.8				7.6				7.4				7.2											
	地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度) ※PC橋梁上部、鋼橋上部工事(補修工事を含む)及び鋼構造物工事は、主たる営業所(本店)に加え、自社工場の所在地も評価対象とする。	工事箇所である□□市内に所在 □□土木事務所管内に所在 県内に所在 上記以外																																															
		防災活動等による貢献 大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	□□土木事務所との協定あり 大分県管理の公共施設を対象とした防災協定 上記以外																																															
		県内企業の活用 当該工事に係る大分県内企業の活用計画 ※請負代金額500万円以上のすべての下請契約 【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定 上記以外																																															
	県産資材の優先使用 ※提示資材：□□□□ ※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】当該工事に係る大分県リサイクル認定製品の活用計画 ※選択しない場合は、【県内企業の活用】に配点する。 ※設計図書に基づき使用可能な資材に限る。 【選択項目】過去1年間のボランティア活動の有無	提示した資材の県産活用割合が□□%以上 上記以外 大分県リサイクル認定製品の活用計画あり 上記以外																																																
	ボランティア活動による貢献 ※選択しない場合は、『配置予定技術者の能力』の【過去10年間の施工経験】に配点する。	ボランティア活動の実績あり 上記以外																																																
加算点小計		7.2				6.8				6.8				3.8				5.8				6.8				5.8				8.8																				
加算点合計			50.0																																															
施工体制評価点			入札価格が低入札価格調査基準価格以上 入札価格が低入札価格調査基準価格未満																																															
合計			65.0																																															

別表1 令和3年度 評価基準表 [標準例] (建築工事) ※朱書きが変更箇所

【予定価格：5千万円以上1億円未満】

評価視点	評価項目	評価基準	施工実績等評価タイプ			
			配点			
			工事種別			
			建築設備工事			
施工計画	施工管理に係わる技術的所見 (選択項目)		/			
	施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点が1.0点若しくは2.0点で評価する。				
企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 過去5年間の工事成績評定点の平均値	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり 国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり 上記以外	0.8 0.4 0.0			
	※評価期間：H28.4.1～R3.3.31 ※工事成績は大分県土木建築部、教育庁(教育財務課)、芸文短大及び看護大発注の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	82点以上 80点以上82点未満 78点以上80点未満 76点以上78点未満 74点以上76点未満 上記以外(成績なし)	1.5 1.3 1.1 0.8 0.6 0.0			
	指名停止措置の有無	指名停止措置なし 指名停止措置あり(3箇月未満) 指名停止措置あり(3箇月以上)	0.0 -0.2(減点) -0.5(減点)			
	※【選択項目】を選択した場合は、配置予定技術者の同種工事の施工経験の有無の配点を減ずる。	※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止 【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無 実績あり ※発注する△△工事に限る。 または、「おいた木の良さを生かした建築賞2019の受賞」の有無※建築一式のみ 上記以外	0.0 0.0 0.0			
	加算点小計		2.3			
	配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり 国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり 上記以外	1.2 1.0 0.0		
		※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 主任(監理)技術者の保有する資格	1級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有 2級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有 上記以外	0.8 0.4 0.0		
		過去4年間の工事成績評定点の最高点	85点以上の評価あり 80点以上85点未満の評価あり 75点以上80点未満の評価あり 上記以外(成績なし)	1.2 1.0 0.6 0.0		
		※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり 大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり 上記以外	0.3 0.2 0.0		
		※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。		0.0		
		CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上) 上記以外	0.4 0.0		
		技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり 上記以外	0.3 0.0		
		加算点小計		4.2		
		地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	工事箇所である□□市内に所在 □□土木事務所管内に所在 県内に所在 上記以外	2.0 1.5 1.0 0.0	
防災活動等による貢献			大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無 □□土木事務所との協定あり 大分県管理の公共施設を対象とした防災協定 上記以外	- 0.5 0.0		
県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画 ※請負代金額500万円以上のすべての下請契約 上記以外		0.7 0.0	1.0 0.0		
県産資材の優先使用 ※選択しない場合は、【県内企業の活用】に配点する。	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画 ※提示資材：□□□□ ※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画 ※提示資材：□□□□ 提示した資材の県産活用割合が□□%以上 上記以外		0.3 0.0	0.3 0.0	選択あり 選択なし	
加算点小計			3.5			
加算点合計			10.0			
施工体制評価点			入札価格が低入札価格調査基準価格以上 入札価格が低入札価格調査基準価格未満			
合計			25.0			

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (建築工事) ※朱書きが変更箇所 【予定価格：1億円以上2億円未満】

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ				
			配点				
			建築一式工事		建築設備工事		
施工計画	施工管理に係わる技術的所見(選択項目)	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。	/		/		
	施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性						
企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	1.0		0.8		
		国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	0.5		0.4		
		上記以外	0.0		0.0		
	過去5年間の工事成績評定点の平均値	8.2点以上	1.6		1.5		
		8.0点以上8.2点未満	1.3		1.3		
		7.8点以上8.0点未満	1.1		1.1		
		7.6点以上7.8点未満	0.8		0.8		
		7.4点以上7.6点未満	0.5		0.6		
		上記以外(成績なし)	0.0		0.0		
	指名停止措置の有無	指名停止措置なし	0.0		0.0		
※【選択項目】を 選択した場合は、 配置予定技術者の 同種工事の施工経 験の有無の配点を 減ずる。	※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止	指名停止措置あり(3箇月未満)	-0.2(減点)		-0.2(減点)		
	【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無 ※発注する△△工事に限る。 または、「おおいの木」の良さを生かした建築賞2019の受賞の有無※建築一式のみ	指名停止措置あり(3箇月以上)	-0.5(減点)		-0.5(減点)		
		実績あり	0.1		0.1		
		上記以外	0.0		0.0		
加算点小計			2.6	2.7	2.3	2.4	
配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	1.0	0.9	2.0	1.9	
		国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	0.5	0.5	1.0	1.0	
		上記以外	0.0		0.0		
		1級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有	/		/		
		2級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有					
		上記以外					
	過去4年間の工事成績評定点の最高点	8.5点以上の評価あり	1.2		1.2		
		8.0点以上8.5点未満の評価あり	1.0		1.0		
		7.5点以上8.0点未満の評価あり	0.6		0.6		
		上記以外(成績なし)	0.0		0.0		
	令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.3		0.3		
	※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり	0.2		0.2		
		上記以外	0.0		0.0		
	CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上)	0.5		0.4		
		上記以外	0.0		0.0		
	技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり	0.4		0.3		
		上記以外	0.0		0.0		
加算点小計			3.4	3.3	4.2	4.1	
地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	工事箇所である□□市内に所在	2.3		2.0		
		□□土木事務所管内に所在	1.7		1.5		
		県内に所在	1.2		1.0		
		上記以外	0.0		0.0		
	防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	□□土木事務所との協定あり	-		-	
		大分県管理の公共施設を対象とした防災協定	0.5		0.5		
		上記以外	0.0		0.0		
	県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定	0.9	1.2	0.7	1.0
		※請負代金額500万円以上のすべての下請契約	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0
	県産資材の優先使用	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	提示した資材の県産活用割合が□□%以上	選択あり	0.3	選択なし	0.3
上記以外			0.0		0.0		
※提示資材：□□□□ ※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画		提示したエコ製品の活用割合が□□%以上	選択あり	0.3	選択なし	0.3	
		上記以外		0.0			0.0
加算点小計			4.0		3.5		
加算点合計			10.0		10.0		
施工体制評価点		入札価格が低入札価格調査基準価格以上	15.0		15.0		
		入札価格が低入札価格調査基準価格未満	0.0		0.0		
合計			25.0		25.0		

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (建築工事) ※朱書きが変更箇所

【予定価格：2億円以上3億円未満】

※2億円未満工事で【計画タイプ】での発注を行う場合は、本価格帯の評価基準を使用すること

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ						
			配点						
			建築一式工事		建築設備工事		技術提案重視型・電気通信工事		
企業の技術力	施工計画	施工管理に係わる技術的所見（選択項目） 施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応の的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点もしくは2.0点で評価する。		評価の最高点 10.0	評価の最高点 10.0	評価の最高点 10.0		
	企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	1.0	0.8	1.2			
		国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	0.5	0.4	0.6				
		上記以外	0.0	0.0	0.0				
		過去5年間の工事成績評定点の平均値	8.2点以上	1.6	1.5				
		※評価期間：H28.4.1～R3.3.31	8.0点以上8.2点未満	1.3	1.3				
		※工事成績は大分県土木建築部、教育庁(教育財務課)、芸文短大及び看護大発注の△△工事に限る。	7.8点以上8.0点未満	1.1	1.1				
		※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。	7.6点以上7.8点未満	0.8	0.8				
		※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	7.4点以上7.6点未満	0.5	0.6				
		上記以外(成績なし)	0.0	0.0					
		指名停止措置の有無	指名停止措置なし	0.0	0.0				
	※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止	指名停止措置あり(3箇月未満)	-0.2(減点)	-0.2(減点)					
	【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無	指名停止措置あり(3箇月以上)	-0.5(減点)	-0.5(減点)					
	※【選択項目】を選択した場合は、配置予定技術者の同種工事の施工経験の有無の配点を減ずる。	実績あり	0.1	0.1					
	または、「おおいた木の良さを生かした建築賞2019の受賞」の有無※建築一式のみ	上記以外	0.0	0.0					
加算点小計		2.6	2.7	2.3	2.4	1.2	1.3		
配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	1.0	0.9	2.0	1.9	2.8	2.7	
	※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	0.5	0.5	1.0	1.0	1.4	1.4	
	主任(監理)技術者の保有する資格	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	過去4年間の工事成績評定点の最高点	1級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有							
	※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。	2級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有							
	※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。	上記以外							
	※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	8.5点以上の評価あり	1.2	1.2					
	令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	8.0点以上8.5点未満の評価あり	1.0	1.0					
	※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	7.5点以上8.0点未満の評価あり	0.6	0.6					
	上記以外(成績なし)	上記以外(成績なし)	0.0	0.0					
CPD(継続教育)の取組状況	大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.3	0.3						
大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり	0.2	0.2							
上記以外	0.0	0.0							
活性能(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	取組あり(各団体推奨ユニット数以上)	0.5	0.4			0.6			
上記以外	0.0	0.0			0.0				
加算点小計		3.4	3.3	4.2	4.1	3.9	3.8		
地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	工事箇所である□□市内に所在	2.3	2.0			2.8		
	□□土木事務所管内に所在	1.7	1.5			2.1			
	県内に所在	1.2	1.0			1.4			
	上記以外	0.0	0.0			0.0			
	防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	□□土木事務所との協定あり	—	—			—	
	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定	0.5	0.5			0.7			
	上記以外	0.0	0.0			0.0			
	県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定	0.9	1.2	0.7	1.0	1.0	1.4
	※請負代金額500万円以上のすべての下請契約	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	県産資材の優先使用	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	提示した資材の県産活用割合が□□%以上	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4
※提示資材：□□□□	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画	提示したエコ製品の活用割合が□□%以上	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4		
※提示資材：□□□□	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
加算点小計		4.0	3.5			4.9			
加算点合計		20.0	20.0			20.0			
施工体制評価点	入札価格が低入札価格調査基準価格以上	15.0	15.0			15.0			
入札価格が低入札価格調査基準価格未満	0.0	0.0			0.0				
合計		35.0	35.0			35.0			

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (建築工事) ※朱書きが変更箇所 【予定価格：5億円以上】

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ							
			配点							
			建築一式工事		建築設備工事		技術提案重視型・電気通信工事			
企業の技術力	施工計画	施工管理に係わる技術的所見(選択項目) 施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応の的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。		3課題 1課題あたり最大10.0点		3課題 1課題あたり最大10.0点		3課題 1課題あたり最大10.0点	
	企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 過去5年間の工事成績評定点の平均値 ※評価期間：H28.4.1～R3.3.31 ※工事成績は大分県土木建築部、教育庁(教育財務課)、芸文短大及び看護大発注の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	2.0	1.6	2.4				
		国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	1.0	0.8	1.2					
		上記以外	0.0	0.0	0.0					
		8.2点以上	3.2	3.0	/					
		8.0点以上8.2点未満	2.6	2.6						
		7.8点以上8.0点未満	2.2	2.2						
		7.6点以上7.8点未満	1.6	1.6						
		7.4点以上7.6点未満	1.0	1.0						
		上記以外(成績なし)	0.0	0.0						
		指名停止措置の有無	指名停止措置なし	0.0	0.0	0.0				
		※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止	指名停止措置あり(3箇月未満)	-0.4(減点)	-0.4(減点)	-0.4(減点)				
		【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無	指名停止措置あり(3箇月以上)	-1.0(減点)	-1.0(減点)	-1.0(減点)				
		※発注する△△工事に限る。	実績あり	0.2	0.2	0.2				
		または、「おおいた木の良さを生かした建築賞2019の受賞」の有無※建築一式のみ	上記以外	0.0	0.0	0.0				
	加算点小計		5.2	5.4	4.6	4.8	2.4	2.6		
配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	2.0	1.8	4.0	3.8	5.6	5.4		
		国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	1.0	1.0	2.0	1.9	2.8	2.7		
		上記以外	0.0	0.0	0.0					
		1級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有	/		/		/			
		2級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有								
		上記以外								
		過去4年間の工事成績評定点の最高点	8.5点以上の評価あり	2.4	2.4	/				
		※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。	8.0点以上8.5点未満の評価あり	2.0	2.0					
		※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。	7.5点以上8.0点未満の評価あり	1.2	1.2					
		※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	上記以外(成績なし)	0.0	0.0					
		令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.6	0.6	/				
		※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。	大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり	0.4	0.4					
		※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	上記以外	0.0	0.0					
		CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上)	1.0	0.8	1.2				
			上記以外	0.0	0.0	0.0				
	技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり	0.8	0.6	1.0					
		上記以外	0.0	0.0	0.0					
	加算点小計		6.8	6.6	8.4	8.2	7.8	7.6		
地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	建設業法上の主たる営業所(本店)の所在地	工事箇所である□□市内に所在	4.6	4.0	5.6				
			□□土木事務所管内に所在	3.4	3.0	4.2				
			県内に所在	2.4	2.0	2.8				
			上記以外	0.0	0.0	0.0				
		防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	□□土木事務所との協定あり	-	-	-			
				大分県管理の公共施設を対象とした防災協定	1.0	1.0	1.4			
				上記以外	0.0	0.0	0.0			
		県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定	1.8	2.4	1.4	2.0	2.0	2.8
				上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		県産資材の優先使用	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	提示した資材の県産活用割合が□□%以上	0.6	0.6	0.8	0.8		
				※提示資材：□□□□	0.0	0.0	0.0	0.0		
				※県産資材には県内企業からの購入を含む。	0.6	0.6	0.8	0.8		
				【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画	0.0	0.0	0.0	0.0		
				※提示資材：□□□□	0.0	0.0	0.0	0.0		
				上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0		
	加算点小計		8.0	7.0	9.8					
加算点合計			50.0		50.0		50.0			
施工体制評価点			入札価格が低入札価格調査基準価格以上	15.0	15.0	15.0				
			入札価格が低入札価格調査基準価格未満	0.0	0.0	0.0				
合計			65.0		65.0		65.0			

別表1 令和3年度 評価基準表 [標準例] (建築工事) ※朱書きが変更箇所 【予定価格：5千万円以上2億円未満】 【予定価格：2億円以上3億円未満】 【予定価格：3億円以上5億円未満】 【予定価格：5億円以上】

評価視点	評価項目	評価基準	施工実績等評価タイプ		施工計画等評価タイプ		施工計画等評価タイプ		施工計画等評価タイプ	
			配点		配点		配点		配点	
			工事種別		工事種別		工事種別		工事種別	
			解体工事		解体工事		解体工事		解体工事	
企業 の 技 術 力	施工計画	施工管理に係わる技術的所見（選択項目） 施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。		評価の最高点 10.0 1課題 1課題あたり 最大10.0点		評価の最高点 20.0 2課題 1課題あたり 最大10.0点		評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点	
	企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(解体工事)の施工実績の有無 ※解体工事は請負代金額1千万円以上の解体工事に限る。 ただし、民間工事は請負代金額2千5百万円以上に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 過去5年間の工事成績評定点の平均値 ※評価期間：H28.4.1～R3.3.31 ※工事成績は大分県土木建設部、教育庁(教育財務課)、芸文短大及び看護大発注の解体工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。								
	指名停止措置の有無	※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止 ※【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無 ※発注する解体工事に限る。 または、「おおいた木の良さを生かした建築賞2019の受賞」の有無※建築一式のみ	指名停止措置なし 0.0 指名停止措置あり(3箇月未満) -0.2(減点) 指名停止措置あり(3箇月以上) -0.5(減点)	0.0 0.0 -0.2(減点) -0.5(減点)	0.0 0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)	0.0 0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)				
	加算点小計		2.3	2.3	2.4	4.6	4.8	4.6	4.8	
	配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(解体工事)の施工経験の有無 ※解体工事は請負代金額1千万円以上の解体工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 主任(監理)技術者の保有する資格	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり 1.4 国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり 1.1 上記以外 0.0	1.4 1.1 0.0	1.3 1.0 0.0	2.8 2.2 0.0	2.6 2.0 0.0	2.8 2.2 0.0	2.6 2.0 0.0	
	過去4年間の工事成績評定点の最高点	※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額5百万円以上の工事成績に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	85点以上の評価あり 80点以上85点未満の評価あり 75点以上80点未満の評価あり 上記以外(成績なし) 0.0	0.8 0.6 0.4 0.0	0.8 0.6 0.4 0.0	1.6 1.2 0.8 0.0	1.6 1.2 0.8 0.0	1.6 1.2 0.8 0.0		
	※発注する解体工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	大分県優良建設者 土木建築部長表彰の受賞あり 0.2 大分県優良建設者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり 0.1 上記以外 0.0	0.2 0.1 0.0	0.2 0.1 0.0	0.4 0.2 0.0	0.4 0.2 0.0	0.4 0.2 0.0	0.4 0.2 0.0		
	CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上) 0.5 上記以外 0.0	0.5 0.0	0.5 0.0	1.0 0.0	1.0 0.0	1.0 0.0	1.0 0.0		
	技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり 0.4 上記以外 0.0	0.4 0.0	0.4 0.0	0.8 0.0	0.8 0.0	0.8 0.0	0.8 0.0		
	加算点小計		4.2	4.2	4.1	8.4	8.2	8.4	8.2	
	地域・ 社会 貢献度	地理的条件(地域精通度)	建設業法上の主たる営業所(本店)の所在地 工事箇所である□□市内に所在 2.0 □□土木事務所管内に所在 1.5 県内に所在 1.0 上記以外 0.0	2.0 1.5 1.0 0.0	2.0 1.5 1.0 0.0	4.0 3.0 2.0 0.0	4.0 3.0 2.0 0.0	4.0 3.0 2.0 0.0		
		防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無 □□土木事務所との協定あり 大分県管理の公共施設を対象とした防災協定 0.5 上記以外 0.0	0.5 0.0	0.5 0.0	1.0 0.0	1.0 0.0	1.0 0.0	1.0 0.0	
		県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画 ※請負代金額500万円以上のすべての下請契約 上記以外 0.0	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定 0.7 1.0 0.0	0.7 1.0 0.0	1.4 2.0 0.0	1.4 2.0 0.0	1.4 2.0 0.0	1.4 2.0 0.0	
		県産資材の優先使用	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画 ※提示資材：□□□□ ※県産資材には県内企業からの購入を含む。 ※提示資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画 ※提示資材：□□□□ 上記以外 0.0	提示した資材の県産活用割合が□□%以上 0.3 上記以外 0.0 提示したエコ製品の活用割合が□□%以上 0.3 上記以外 0.0	0.3 0.0 0.3 0.0	0.6 0.0 0.6 0.0	0.6 0.0 0.6 0.0	0.6 0.0 0.6 0.0	0.6 0.0 0.6 0.0	
		加算点小計		3.5	3.5	7.0	7.0	7.0		
加算点合計		10.0	20.0	40.0	50.0					
施工体制評価点	入札価格が低入札価格調査基準価格以上 15.0 入札価格が低入札価格調査基準価格未満 0.0	15.0 0.0	15.0 0.0	15.0 0.0	15.0 0.0	15.0 0.0				
合計		25.0	35.0	55.0	65.0					

別表1 令和3年度 評価基準表 [標準例] (例: 土木工事【予定価格: 2億円以上3億円未満】)

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ				
			配点				
			工事種別				
一般土木工事等							
施工計画	施工管理に係わる技術的所見(選択項目)	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。	評価の最高点 10.0				
	施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性		1課題 1課題あたり 最大10.0点				
企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無	国又は大分県発注工事の実績あり	1.0				
		国又は大分県発注工事以外の公共工事の実績あり	0.5				
	※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。	上記以外	0.0				
	過去4年間の工事成績評定点の平均値	8.2点以上	2.0				
	※評価期間: H29.4.1~R3.3.31	8.0点以上8.2点未満	1.8				
		7.8点以上8.0点未満	1.6				
		7.6点以上7.8点未満	1.3				
		7.4点以上7.6点未満	1.0				
		上記以外(成績なし)	0.0				
	指名停止措置の有無	指名停止措置なし	0.0				
	※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止	指名停止措置あり(3箇月未満)	-0.2(減点)				
		指名停止措置あり(3箇月以上)	-0.5(減点)				
	【選択項目】過去2年間の□□部契約後V E提案採用の有無	実績あり	0.1				
	※発注する△△工事に限る。	上記以外	0.0				
	加算点小計		3.0		3.1		
配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無	国又は大分県発注工事の実績あり	1.3	1.2	1.5	1.4	
		国又は大分県発注工事以外の公共工事の実績あり	0.7	0.6	0.8	0.7	
	※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。	上記以外	0.0				
	主任(監理)技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士等の資格保有	/				
		2級土木施工管理技士等の資格保有					
		1級(電気通信)施工管理技士の資格保有					
		2級(電気通信)施工管理技士の資格保有					
		上記以外					
	過去4年間の工事成績評定点の最高点	8.5点以上の評価あり	1.2				
		8.0点以上8.5点未満の評価あり	1.0				
	※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。	7.5点以上8.0点未満の評価あり	0.6				
		上記以外(成績なし)	0.0				
	令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.3				
	※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。	大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり	0.2				
	※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	上記以外	0.0				
CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上)	0.3					
	上記以外	0.0					
専門資格の保有	(評価資格) □□□の資格あり	/					
※地すべり防止工事士、1級舗装施工管理技術者、コンクリート診断士、PC技士、のり面施工管理技術者	上記以外						
技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり					0.3	
	上記以外	0.0					
加算点小計		3.4	3.3	3.6	3.5		
地域・社会貢献度	建設業法上の主たる営業所(本店)の所在地	工事箇所である□□市内に所在	2.0				
		□□土木事務所管内に所在	1.5				
	※PC橋梁上部、鋼橋上部工事(補修工事を含む)は、主たる営業所(本店)に加え、自社工場の所在地も評価対象とする。	県内に所在	1.0				
		上記以外	0.0				
	防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	□□土木事務所との協定あり	1.0			
			大分県管理の公共施設を対象とした防災協定	0.5			
			上記以外	0.0			
	県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定	0.2	0.4		
		※請負代金額500万円以上のすべての下請契約	上記以外	0.0			
	県産資材の優先使用	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	提示した資材の県産活用割合が□□%以上	選択あり	0.2	選択なし	/
		※提示資材: □□□□	上記以外		0.0		
	※県産資材には県内企業からの購入を含む。	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の使用計画	大分県産資材の使用計画あり		0.2		
	※設計図書に基づき使用可能な資材に限る。	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の使用計画	上記以外		0.0		
	ボランティア活動による貢献	【選択項目】過去1年間のボランティア活動の有無	ボランティア活動の実績あり	選択あり	0.2	選択なし	/
	※選択しない場合は、【配置予定技術者の能力】の【過去10年間の施工経験】に配点する。	※評価対象とする活動は、入札公告の際、下記から指定する。 ○小規模集落応援隊の活動	上記以外	0.0	0.0		
加算点小計			3.6		3.4		
加算点合計			20.0				
施工体制評価点			15.0				
			0.0				
合計			35.0				

【タイプ変更】
『施工計画』部分を削除し、実績タイプと同じ評価基準の配点(10点満点)とする。

評価視点	評価項目	評価基準	施工実績等評価タイプ				
			配点				
			工事種別				
一般土木工事等							
企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無	国又は大分県発注工事の実績あり	1.0				
		国又は大分県発注工事以外の公共工事の実績あり	0.5				
	※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。	上記以外	0.0				
	過去4年間の工事成績評定点の平均値	8.2点以上	2.0				
	※評価期間: H29.4.1~R3.3.31	8.0点以上8.2点未満	1.8				
		7.8点以上8.0点未満	1.6				
		7.6点以上7.8点未満	1.3				
		7.4点以上7.6点未満	1.0				
		上記以外(成績なし)	0.0				
	指名停止措置の有無	指名停止措置なし	0.0				
	※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止	指名停止措置あり(3箇月未満)	-0.2(減点)				
		指名停止措置あり(3箇月以上)	-0.5(減点)				
	【選択項目】過去2年間の□□部契約後V E提案採用の有無	実績あり	0.1				
	※発注する△△工事に限る。	上記以外	0.0				
	加算点小計		3.0		3.1		
配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無	国又は大分県発注工事の実績あり	1.3	1.2	1.5	1.4	
		国又は大分県発注工事以外の公共工事の実績あり	0.7	0.6	0.8	0.7	
	※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。	上記以外	0.0				
	主任(監理)技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士等の資格保有	/				
		2級土木施工管理技士等の資格保有					
		1級(電気通信)施工管理技士の資格保有					
		2級(電気通信)施工管理技士の資格保有					
		上記以外					
	過去4年間の工事成績評定点の最高点	8.5点以上の評価あり	1.2				
		8.0点以上8.5点未満の評価あり	1.0				
	※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。	7.5点以上8.0点未満の評価あり	0.6				
		上記以外(成績なし)	0.0				
	令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.3				
	※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。	大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり	0.2				
	※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	上記以外	0.0				
CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上)	0.3					
	上記以外	0.0					
専門資格の保有	(評価資格) □□□の資格あり	/					
※地すべり防止工事士、1級舗装施工管理技術者、コンクリート診断士、PC技士、のり面施工管理技術者	上記以外						
技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり					0.3	
	上記以外	0.0					
加算点小計		3.4	3.3	3.6	3.5		
地域・社会貢献度	建設業法上の主たる営業所(本店)の所在地	工事箇所である□□市内に所在	2.0				
		□□土木事務所管内に所在	1.5				
	※PC橋梁上部、鋼橋上部工事(補修工事を含む)は、主たる営業所(本店)に加え、自社工場の所在地も評価対象とする。	県内に所在	1.0				
		上記以外	0.0				
	防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	□□土木事務所との協定あり	1.0			
			大分県管理の公共施設を対象とした防災協定	0.5			
			上記以外	0.0			
	県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定	0.2	0.4		
		※請負代金額500万円以上のすべての下請契約	上記以外	0.0			
	県産資材の優先使用	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	提示した資材の県産活用割合が□□%以上	選択あり	0.2	選択なし	/
		※提示資材: □□□□	上記以外		0.0		
	※県産資材には県内企業からの購入を含む。	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の使用計画	大分県産資材の使用計画あり		0.2		
	※設計図書に基づき使用可能な資材に限る。	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の使用計画	上記以外		0.0		
	ボランティア活動による貢献	【選択項目】過去1年間のボランティア活動の有無	ボランティア活動の実績あり	選択あり	0.2	選択なし	/
	※選択しない場合は、【配置予定技術者の能力】の【過去10年間の施工経験】に配点する。	※評価対象とする活動は、入札公告の際、下記から指定する。 ○小規模集落応援隊の活動	上記以外	0.0	0.0		
加算点小計			3.6		3.4		
加算点合計			10.0				
施工体制評価点			15.0				
			0.0				
合計			25.0				

土木建築部

R3. 10 評価基準表[標準例]

【ワーク・ライフ・バランス推進型】

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (土木工事) ※朱書きが変更箇所 【予定価格：5千万円以上8千万円未満】

Table with columns for evaluation points (評価視点), evaluation items (評価項目), evaluation standards (評価基準), and construction performance evaluation types (施工実績等評価タイプ). It includes sub-columns for different construction types like general civil works, paving, and bridge works. The table is divided into sections for 'Enterprise Technical Power' (企業の技術力) and 'Local/Social Contribution' (地域・社会貢献度).

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (土木工事) ※朱書きが変更箇所 【ワーク・ライフ・バランス推進型】 【予定価格：2億円以上3億円未満】 ※2億円未満工事で【計画タイプ】での発注を行う場合は、本価格帯の評価基準を使用すること

Table with columns for Evaluation Viewpoint, Evaluation Item, Evaluation Standard, and Construction Plan Evaluation Type (General Civil Engineering, Roadwork, Bridge New Construction, Tunnel, etc.). It includes detailed criteria for construction management, company performance, and technical capabilities, with a final summary row showing a total score of 35.0.

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (土木工事) ※朱書きが変更箇所 【ワーク・ライフ・バランス推進型】

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ																							
			配点																							
			工事種別																							
		一般土木工事等		舗装工事 橋梁下部工補修工事 地すべり対策工事 床版・PC(RC)補修工事 鋼橋上部補修工事 法面表面浸食工事		橋梁新設工事 ・PC橋上部工事 ・鋼橋上部工事		技術提案重視型				トンネル工事 ・海洋土木工事		その他特殊工事 ・堰(鋼構造物) ・電気通信等		技術提案重視型 ・堰(鋼構造物) ・電気通信工事										
		評価の最高点 20.0		評価の最高点 20.0		評価の最高点 20.0		評価の最高点 20.0				評価の最高点 20.0		評価の最高点 20.0		評価の最高点 20.0										
		2課題		2課題		2課題		2課題				2課題		2課題		2課題										
		1課題あたり 最大10.0点		1課題あたり 最大10.0点		1課題あたり 最大10.0点		1課題あたり 最大10.0点				1課題あたり 最大10.0点		1課題あたり 最大10.0点		1課題あたり 最大10.0点										
企業の技術力	施工計画	施工管理に係る技術的所見(選択項目) 施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係る技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点が1.0点若しくは2.0点で評価する。																							
	企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 過去4年間の工事成績評定点の平均値 ※評価期間：H29.4.1~R3.3.31	国又は大分県発注工事の実績あり 国又は大分県発注工事以外の公共工事の実績あり 上記以外		2.0 1.0 0.0		2.0 1.0 0.0		4.0 2.0 0.0		6.2 3.1 0.0				2.0 1.0 0.0		2.4 1.2 0.0		3.8 1.8 0.0							
		ワーク・ライフ・バランス関連の認定・表彰等	国の認定又は県の表彰の実績あり 国の認定又は県の表彰の基準となる計画等の策定・届出、登録あり 上記以外		0.4 0.2 0.0		0.4 0.2 0.0		0.4 0.2 0.0		0.4 0.2 0.0				0.4 0.2 0.0		0.4 0.2 0.0		0.4 0.2 0.0							
		※【選択項目】を選択した場合は、配置予定技術者の同種工事の施工経験の有無の配点を減ずる。	指名停止措置の有無 ※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止 【選択項目】過去2年間の□□部契約後V E提案採用の有無 ※発注する△△工事に限る。		指名停止措置なし 指名停止措置あり(3箇月未満) 指名停止措置あり(3箇月以上)		0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)		0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)		0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)				0.0 -0.2(減点) -0.5(減点)		0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)		0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)							
		加算点小計	6.4		6.6		6.4		8.4		6.6				6.8		6.4		7.0		4.2		4.4			
		配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。		国又は大分県発注工事の実績あり 国又は大分県発注工事以外の公共工事の実績あり 上記以外		2.6 2.4 3.0 2.8 1.3 1.2 1.5 1.4		3.0 2.8 2.6 2.4 1.5 1.4 1.3 1.2		3.6 3.4 4.0 3.8 1.8 1.7 2.0 1.9		5.4 5.2 6.0 5.8 2.7 2.6 3.0 2.9				3.0 2.8 1.6 1.4		3.6 3.4 1.8 1.8		5.4 5.2 2.8 2.6					
			主任(監理)技術者の保有する資格		1級土木施工管理技士の資格保有 2級土木施工管理技士の資格保有 1級(電気通信)施工管理技士の資格保有 2級(電気通信)施工管理技士の資格保有 上記以外		/		/		/				/		/		/							
			過去4年間の工事成績評定点の最高点		8.5点以上の評価あり 8.0点以上8.5点未満の評価あり 7.5点以上8.0点未満の評価あり 上記以外(成績なし)		2.4 2.0 1.2 0.0		2.4 2.0 1.2 0.0		2.4 2.0 1.2 0.0				2.4 2.0 1.2 0.0		2.4 2.0 1.2 0.0		2.4 2.0 1.2 0.0							
			令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴		大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり		0.6		0.6		0.6				0.6		0.6		0.6							
			※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。		大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり 上記以外		0.4 0.0		0.4 0.0		0.4 0.0				0.4 0.0		0.4 0.0		0.4 0.0							
			CPD(継続教育)の取組状況		取組あり(各団体推奨ユニット数以上) 上記以外		0.6 0.0		0.6 0.0		1.0 0.0				0.6 0.0		0.6 0.0		1.0 0.0							
			専門資格の保有		(評価資格) □□□の資格あり 上記以外		/		/		/				/		/		/							
			※地すべり防止工事士、1級舗装施工管理技術者、コンクリート診断士、PC技士、のり面施工管理技術者 技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用		活用計画あり 上記以外		0.6 0.0		0.6 0.0		1.0 0.0				0.6 0.0		0.6 0.0		1.0 0.0							
			加算点小計		6.8		6.6		7.2		7.0				7.2		7.0		7.8		7.6		7.4		7.2	
	地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	建設業法上の主たる営業所(本店)の所在地 ※PC橋梁上部、鋼橋上部工事(補修工事を含む)及び鋼構造物工事は、主たる営業所(本店)に加え、自社工場の所在地でも評価対象とする。		工事箇所である□□市内に所在 □□土木事務所管内に所在 県内に所在 上記以外		4.0 3.0 2.0 0.0		4.0 3.0 2.0 0.0		- - 2.0 0.0				- 3.0 2.0 0.0		4.0 3.0 2.0 0.0		6.0 4.5 3.0 0.0							
防災活動等による貢献		大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無		□□土木事務所との協定あり 大分県管理の公共施設を対象とした防災協定 上記以外		1.6 0.8 0.0		1.6 0.8 0.0		- 0.6 0.0				1.6 0.8 0.0		- 0.6 0.0		- 1.2 0.0								
県内企業の活用		当該工事に係る大分県内企業の活用計画 ※請負代金額500万円以上のすべての下請契約 【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画		県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定 上記以外		0.4 0.0		0.8 0.0		0.4 0.0		0.8 0.0				0.4 0.0		0.8 0.0		0.6 0.0		1.2 0.0				
県産資材の優先使用		※提示資材：□□□□ ※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】当該工事に係る大分県リサイクル認定製品の活用計画		提示した資材の県産活用割合が□□%以上 上記以外		0.4 0.0		0.4 0.0		0.4 0.0		0.6 0.0				0.4 0.0		0.4 0.0		0.6 0.0		0.6 0.0				
※選択しない場合は、【県内企業の活用】に配点する。 ※設計図書に基づき使用可能な資材に限る。 【選択項目】過去1年間のボランティア活動の有無		大分県リサイクル認定製品の活用計画あり 上記以外		0.4 0.0		0.4 0.0		0.4 0.0		0.6 0.0				0.4 0.0		0.4 0.0		0.6 0.0		0.6 0.0						
ボランティア活動による貢献	※評価対象とする活動は、入札公告の際、下記から指定する。 ○小規模集落応援隊の活動		ボランティア活動の実績あり 上記以外		0.4 0.0		/		/				/		/		/		/							
		加算点小計		6.8		6.4		6.4		3.4				5.4		6.4		5.4		8.4						
加算点合計			40.0		40.0		40.0		40.0				40.0		40.0		40.0		40.0							
施工体制評価点			15.0 0.0		15.0 0.0		15.0 0.0		15.0 0.0				15.0 0.0		15.0 0.0		15.0 0.0		15.0 0.0							
合計			55.0		55.0		55.0		55.0				55.0		55.0		55.0		55.0							

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (土木工事) ※朱書きが変更箇所 【予定価格：5億円以上】

Table with columns for Evaluation Viewpoint (評価視点), Evaluation Item (評価項目), Evaluation Standard (評価基準), and Construction Plan Evaluation Type (施工計画等評価タイプ). It includes sub-columns for different construction types like General Civil Engineering, Roadwork, Bridge New Construction, Tunnel, etc., and various evaluation criteria like Construction Plan, Company Performance, and Regional Contribution.

別表1 令和3年度 評価基準表 [標準例] (建築工事) ※朱書きが変更箇所
【ワーク・ライフ・バランス推進型】

【予定価格：5千万円以上1億円未満】

評価視点	評価項目	評価基準	施工実績等評価タイプ		
			配点		
			工事種別		
			建築設備工事		
施工計画	施工管理に係わる技術的所見 (選択項目)		/		
	施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点が1.0点若しくは2.0点で評価する。			
企業の技術力	企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 過去5年間の工事成績評定点の平均値	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	0.8	
		国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	0.4		
		上記以外	0.0		
		8.2点以上	1.5		
		8.0点以上8.2点未満	1.3		
		7.8点以上8.0点未満	1.1		
		7.6点以上7.8点未満	0.8		
		7.4点以上7.6点未満	0.6		
		上記以外(成績なし)	0.0		
		ワーク・ライフ・バランス関連の認定・表彰等	国の認定又は県の表彰の実績あり	0.2	
			国の認定又は県の表彰の基準となる計画等の策定・届出・登録あり	0.1	
			上記以外	0.0	
		指名停止措置の有無	指名停止措置なし	0.0	
		※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止	指名停止措置あり(3箇月未満)	-0.2(減点)	
	【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無	指名停止措置あり(3箇月以上)	-0.5(減点)		
	※発注する△△工事に限る。 または、「おおいの木」の良さを生かした建築賞2019の受賞の有無※建築一式のみ	実績あり			
		上記以外			
	加算点小計		2.5		
配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	1.2		
		国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	1.0		
		上記以外	0.0		
		1級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有	0.8		
		2級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有	0.4		
		上記以外	0.0		
		過去4年間の工事成績評定点の最高点	8.5点以上の評価あり	1.2	
			8.0点以上8.5点未満の評価あり	1.0	
			7.5点以上8.0点未満の評価あり	0.6	
			上記以外(成績なし)	0.0	
	令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.3		
	※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり	0.2		
		上記以外	0.0		
	CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上)	0.4		
		上記以外	0.0		
	技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり	0.3		
		上記以外	0.0		
	加算点小計		4.2		
地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	建設業法上の主たる営業所(本店)の所在地	工事箇所である□□市内に所在	2.0	
			□□土木事務所管内に所在	1.5	
			県内に所在	1.0	
			上記以外	0.0	
		防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	□□土木事務所との協定あり	-
		大分県管理の公共施設を対象とした防災協定	0.3		
		上記以外	0.0		
	県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定	0.7	1.0
		※請負代金額500万円以上のすべての下請契約	上記以外	0.0	0.0
	県産資材の優先使用	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	提示した資材の県産活用割合が□□%以上	0.3	/
		※提示資材：□□□□	上記以外	0.0	
	※選択しない場合は、【県内企業の活用】に配点する。	※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画	提示したエコ製品の活用割合が□□%以上	0.3	
		※提示資材：□□□□	上記以外	0.0	
	加算点小計		3.3		
加 算 点 合 計			10.0		
施 工 体 制 評 価 点			入札価格が低入札価格調査基準価格以上	15.0	
			入札価格が低入札価格調査基準価格未満	0.0	
合 計			25.0		

別表1 令和3年度 評価基準表 [標準例] (建築工事) ※朱書きが変更箇所 【ワーク・ライフ・バランス推進型】 【予定価格：1億円以上2億円未満】

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ						
			配点						
			工事種別		工事種別				
		建築一式工事		建築設備工事					
施工計画	施工管理に係わる技術的所見(選択項目)	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。	/		/				
	施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応の的確性 施工上配慮すべき事項の適切性								
企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 過去5年間の工事成績評定点の平均値 ※評価期間：H28.4.1～R3.3.31 ※工事成績は大分県土木建築部、教育庁(教育財務課)、芸文短大及び看護大発注の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。						国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	1.0	0.8
	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり						0.5	0.4	
	上記以外						0.0	0.0	
	ワーク・ライフ・バランス関連の認定・表彰等	国の認定又は県の表彰の実績あり	0.2	0.2					
		国の認定又は県の表彰の基準となる計画等の策定・届出、登録あり	0.1	0.1					
		上記以外	0.0	0.0					
	指名停止措置の有無	指名停止措置なし	0.0	0.0					
	※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止	指名停止措置あり(3箇月未満)	-0.2(減点)	-0.2(減点)					
	【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無	指名停止措置あり(3箇月以上)	-0.5(減点)	-0.5(減点)					
	※発注する△△工事に限る。	実績あり	0.1	0.1					
	または、「おおいの木」の良さを生かした建築賞2019の受賞の有無※建築一式のみ	上記以外	0.0	0.0					
	加算点小計		2.8	2.9	2.5	2.6			
企業の技術力	配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	1.0	0.9	2.0	1.9		
		※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 主任(監理)技術者の保有する資格	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	0.5	0.5	1.0	1.0		
		上記以外	0.0	0.0					
		過去4年間の工事成績評定点の最高点	1級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有	/		/			
		※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	2級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有						
		上記以外	上記以外						
		※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	85点以上の評価あり	1.2	1.2				
			80点以上85点未満の評価あり	1.0	1.0				
			75点以上80点未満の評価あり	0.6	0.6				
			上記以外(成績なし)	0.0	0.0				
		大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.3	0.3					
		大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり	0.2	0.2					
		上記以外	0.0	0.0					
	CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上)	0.5	0.4					
		上記以外	0.0	0.0					
	技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり	0.4	0.3					
		上記以外	0.0	0.0					
	加算点小計		3.4	3.3	4.2	4.1			
地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	建設業法上の主たる営業所(本店)の所在地	工事箇所である□□市内に所在	2.3	2.0				
			□□土木事務所管内に所在	1.7	1.5				
			県内に所在	1.2	1.0				
			上記以外	0.0	0.0				
		防災活動等による貢献	□□土木事務所との協定あり	-	-				
			大分県管理の公共施設を対象とした防災協定	0.3	0.3				
			上記以外	0.0	0.0				
	県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定	0.9	1.2	0.7	1.0		
		※請負代金額500万円以上のすべての下請契約	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0		
県産資材の優先使用	【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	提示した資材の県産活用割合が□□%以上	/	/	/				
		※提示資材：□□□□				0.3	0.3		
		※県産資材には県内企業からの購入を含む。				0.0	0.0		
		【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画				0.3	0.3		
	※提示資材：□□□□	0.0	0.0						
	上記以外	0.0	0.0						
	加算点小計		3.8	3.3					
加算点合計			10.0	10.0					
施工体制評価点		入札価格が低入札価格調査基準価格以上	15.0	15.0					
		入札価格が低入札価格調査基準価格未満	0.0	0.0					
合計			25.0	25.0					

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (建築工事) ※朱書きが変更箇所
【ワーク・ライフ・バランス推進型】

【予定価格：2億円以上3億円未満】

※2億円未満工事で【計画タイプ】での発注を行う場合は、本価格帯の評価基準を使用すること

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ					
			配点					
			建築一式工事		建築設備工事		技術提案重視型・電気通信工事	
企業の技術力	施工計画	施工管理に係わる技術的所見(選択項目) 施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	評価の最高点 10.0 1課題 1課題あたり 最大10.0点		評価の最高点 10.0 1課題 1課題あたり 最大10.0点		評価の最高点 10.0 1課題 1課題あたり 最大10.0点	
	企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	1.0	0.8	1.2		
		国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	0.5	0.4	0.6			
		上記以外	0.0	0.0	0.0			
		過去5年間の工事実績評定点の平均値	8.2点以上	1.6	1.5	/		
		※評価期間：H28.4.1~R3.3.31 ※工事成績は大分県土木建築部、教育庁(教育財務課)、芸文短大及び看護大発注の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	8.0点以上8.2点未満	1.3	1.3			
		7.8点以上8.0点未満	1.1	1.1				
		7.6点以上7.8点未満	0.8	0.8				
		7.4点以上7.6点未満	0.5	0.6				
		上記以外(成績なし)	0.0	0.0				
		ワーク・ライフ・バランス関連の認定・表彰等	国の認定又は県の表彰の実績あり	0.2	0.2	0.2		
		国の認定又は県の表彰の基準となる計画等の策定・届出、登録あり	0.1	0.1	0.1			
		上記以外	0.0	0.0	0.0			
		指名停止措置の有無	指名停止措置なし	0.0	0.0	0.0		
		※指名停止等措置要領(昭和60年3月8日大分県告示第267号)に基づく指名停止	指名停止措置あり(3箇月未満)	-0.2(減点)	-0.2(減点)	-0.2(減点)		
【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無 ※発注する△△工事に限る。 または、「おおいた木の良さを生かした建築賞2019の受賞」の有無※建築一式のみ	指名停止措置あり(3箇月以上)	-0.5(減点)	-0.5(減点)	-0.5(減点)				
実績あり	0.1	0.1	0.1					
上記以外	0.0	0.0	0.0					
加算点小計		2.8	2.9	2.5	2.6	1.4	1.5	
配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 主任(監理)技術者の保有する資格	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	1.0	0.9	2.0	1.9	2.8	2.7
		国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	0.5	0.5	1.0	1.0	1.4	1.4
		上記以外	0.0	0.0	0.0			
		1級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有	/		/		/	
		2級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有						
		上記以外						
		過去4年間の工事実績評定点の最高点	8.5点以上の評価あり	1.2	1.2	/		
		※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	8.0点以上8.5点未満の評価あり	1.0	1.0			
		7.5点以上8.0点未満の評価あり	0.6	0.6				
		上記以外(成績なし)	0.0	0.0				
		大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.3	0.3				
		大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり	0.2	0.2				
		※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	上記以外	0.0	0.0	/		
		CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上)	0.5	0.4	0.6		
上記以外	0.0	0.0	0.0					
技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり	0.4	0.3	0.5				
上記以外	0.0	0.0	0.0					
加算点小計		3.4	3.3	4.2	4.1	3.9	3.8	
地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	工事箇所である□□市内に所在	2.3		2.0		2.8	
		□□土木事務所管内に所在	1.7		1.5		2.1	
		県内に所在	1.2		1.0		1.4	
		上記以外	0.0		0.0		0.0	
	防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	□□土木事務所との協定あり		-		-	
		大分県管理の公共施設を対象とした防災協定	0.3		0.3		0.5	
	上記以外	0.0		0.0		0.0		
	県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定		0.9		1.2	
		※請負代金額500万円以上のすべての下請契約	上記以外		0.0		0.0	
		【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	提示した資材の県産活用割合が□□%以上		0.3		0.3	
※提示資材：□□□□		上記以外		0.0		0.0		
県産資材の優先使用	※選択しない場合は、【県内企業の活用】に配点する。	※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画	提示したエコ製品の活用割合が□□%以上		0.3		0.3	
		※提示資材：□□□□	上記以外		0.0		0.0	
		選択あり	0.3	0.3	0.4	0.4		
		選択なし	0.0	0.0	0.0	0.0		
加算点小計		3.8	3.3	4.7				
加算点合計			20.0	20.0	20.0			
施工体制評価点		入札価格が低入札価格調査基準価格以上	15.0	15.0	15.0			
		入札価格が低入札価格調査基準価格未満	0.0	0.0	0.0			
合計			35.0	35.0	35.0			

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (建築工事) ※朱書きが変更箇所 【予定価格：3億円以上5億円未満】
 【ワーク・ライフ・バランス推進型】

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ								
			配点								
			建築一式工事		建築設備工事		技術提案重視型・電気通信工事				
企業の技術力	施工計画	施工管理に係わる技術的所見(選択項目) 施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。		評価の最高点 20.0 2課題 1課題あたり 最大10.0点		評価の最高点 20.0 2課題 1課題あたり 最大10.0点		評価の最高点 20.0 2課題 1課題あたり 最大10.0点		
	企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	2.0		1.6		2.4			
		過去5年間の工事実績評定点の平均値	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	1.0		0.8		1.2			
		※評価期間：H28.4.1～R3.3.31 ※工事成績は大分県土木建築部、教育庁(教育財務課)、芸文短大及び看護大発注の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	上記以外	0.0		0.0		0.0			
		ワーク・ライフ・バランス関連の認定・表彰等	8.2点以上	3.2		3.0					
		指名停止措置の有無	8.0点以上8.2点未満	2.6		2.6					
			7.8点以上8.0点未満	2.2		2.2					
		指名停止措置の有無	7.6点以上7.8点未満	1.6		1.6					
			7.4点以上7.6点未満	1.0		1.0					
		指名停止措置の有無	上記以外(成績なし)	0.0		0.0					
			国の認定又は県の表彰の実績あり	0.4		0.4		0.4			
		指名停止措置の有無	国の認定又は県の表彰の基準となる計画等の策定・届出、登録あり	0.2		0.2		0.2			
			上記以外	0.0		0.0		0.0			
		指名停止措置の有無	指名停止措置なし	0.0		0.0		0.0			
			指名停止措置あり(3箇月未満)	-0.4(減点)		-0.4(減点)		-0.4(減点)			
指名停止措置の有無	指名停止措置あり(3箇月以上)	-1.0(減点)		-1.0(減点)		-1.0(減点)					
	実績あり	0.2		0.2		0.2					
指名停止措置の有無	または、「おいた木の良さを生かした建築賞2019の受賞」の有無※建築一式のみ	上記以外	0.0		0.0		0.0				
	加算点小計		5.6	5.8	5.0	5.2	2.8	3.0			
配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり	2.0	1.8	4.0	3.8	5.6	5.4			
	※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり	1.0	1.0	2.0	1.9	2.8	2.7			
	主任(監理)技術者の保有資格	上記以外	0.0		0.0		0.0				
	過去4年間の工事実績評定点の最高点	1級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有									
		2級(管・電気・電気通信)施工管理技士の資格保有									
	過去4年間の工事実績評定点の最高点	上記以外									
		8.5点以上の評価あり	2.4		2.4						
	※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	8.0点以上8.5点未満の評価あり	2.0		2.0						
		7.5点以上8.0点未満の評価あり	1.2		1.2						
	※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	上記以外(成績なし)	0.0		0.0						
		大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.6		0.6						
	C P D(継続教育)の取組状況	大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり	0.4		0.4						
		上記以外	0.0		0.0						
	活用計画あり	取組あり(各団体推奨ユニット数以上)	1.0		0.8		1.2				
上記以外		0.0		0.0		0.0					
活用計画あり	活用計画あり	0.8		0.6		1.0					
	上記以外	0.0		0.0		0.0					
加算点小計		6.8	6.6	8.4	8.2	7.8	7.6				
地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	工事箇所である〇〇市内に所在	4.6		4.0		5.6				
	防災活動等による貢献	〇〇土木事務所管内に所在	3.4		3.0		4.2				
		県内に所在	2.4		2.0		2.8				
		上記以外	0.0		0.0		0.0				
	県内企業の活用	〇〇土木事務所との協定あり	—		—		—				
		大分県管理の公共施設を対象とした防災協定	0.6		0.6		1.0				
	県産資材の優先使用	上記以外	0.0		0.0		0.0				
		当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定	1.8	2.4	1.4	2.0	2.0	2.8		
	※提示しない場合は、【県内企業の活用】に配点する。	※請負代金額500万円以上のすべての下請契約	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	提示した資材の県産活用割合が〇〇%以上	0.6		0.6		0.8			
※提示資材：〇〇〇〇		上記以外	0.0		0.0		0.0				
※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画		提示したエコ製品の活用割合が〇〇%以上	0.6		0.6		0.8				
加算点小計	※提示資材：〇〇〇〇	上記以外	0.0		0.0		0.0				
	加算点小計		7.6		6.6		9.4				
加算点合計		40.0		40.0		40.0					
施工体制評価点	入札価格が低入札価格調査基準価格以上	15.0		15.0		15.0					
	入札価格が低入札価格調査基準価格未満	0.0		0.0		0.0					
合計		55.0		55.0		55.0					

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕 (建築工事) ※朱書きが変更箇所 【予定価格：5億円以上】
 【ワーク・ライフ・バランス推進型】

評価視点	評価項目	評価基準	施工計画等評価タイプ						
			配点						
			建築一式工事		建築設備工事		技術提案重視型・電気通信工事		
企業の技術力 ※【選択項目】を選択した場合は、配置予定技術者の同種工事の施工経験の有無の配点を減ずる。	施工計画 施工管理に係わる技術的所見(選択項目) 施工計画の実施手順の妥当性及び工期設定の適切性 品質管理に係わる技術的所見 発注者が指定した施工上の課題への対応的確性 施工上配慮すべき事項の適切性	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。	評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点	評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点	評価の最高点 30.0 3課題 1課題あたり 最大10.0点				
	企業の施工実績 過去10年間に履行した同種工事(〇〇工事)の施工実績の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり 国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり 上記以外	2.0 1.0 0.0	1.6 0.8 0.0	2.4 1.2 0.0				
	過去5年間の工事成績評定点の平均値 ※評価期間：H28.4.1～R3.3.31 ※工事成績は大分県土木建築部、教育庁(教育財務課)、芸文短大及び看護大発注の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	8.2点以上 8.0点以上8.2点未満 7.8点以上8.0点未満 7.6点以上7.8点未満 7.4点以上7.6点未満 上記以外(成績なし)	3.2 2.6 2.2 1.6 1.0 0.0	3.0 2.6 2.2 1.6 1.0 0.0	/				
	ワーク・ライフ・バランス関連の認定・表彰等	国の認定又は県の表彰の実績あり 国の認定又は県の表彰の基準となる計画等の策定・届出、登録あり 上記以外	0.4 0.2 0.0	0.4 0.2 0.0				0.4 0.2 0.0	
	指名停止措置の有無 ※【選択項目】を指定した場合は、配置予定技術者の同種工事の施工経験の有無の配点を減ずる。	指名停止措置なし 指名停止措置あり(3箇月未満) 指名停止措置あり(3箇月以上)	0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)	0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)	0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)				
	【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無 ※発注する△△工事に限る。 または、「おおいた木の良さを生かした建築賞2019の受賞」の有無※建築一式のみ	実績あり 上記以外	0.2 0.0	0.2 0.0	0.2 0.0				
	加算点小計		5.6	5.8	5.0	5.2	2.8	3.0	
	配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(〇〇工事)の施工経験の有無 ※〇〇工事は請負代金額2千5百万円以上の△△工事に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 主任(監理)技術者の保有する資格	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり 国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり 上記以外	2.0 1.0 0.0	1.8 1.0 0.0	4.0 2.0 0.0	3.8 1.9 0.0	5.6 2.8 0.0	5.4 2.7 0.0
		過去4年間の工事成績評定点の最高点 ※主任(監理)技術者又は現場代理人として従事した、請負代金額2千5百万円以上の工事成績に限る。 ※芸文短大発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護大発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。 令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	8.5点以上の評価あり 8.0点以上8.5点未満の評価あり 7.5点以上8.0点未満の評価あり 上記以外(成績なし)	2.4 2.0 1.2 0.0	2.4 2.0 1.2 0.0	/			
		※発注する△△工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。	大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり 大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり 上記以外	0.6 0.4 0.0	0.6 0.4 0.0				
		CPD(継続教育)の取組状況	取組あり(各団体推奨ユニット数以上) 上記以外	1.0 0.0	0.8 0.0	1.2 0.0			
		技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用	活用計画あり 上記以外	0.8 0.0	0.6 0.0	1.0 0.0			
		加算点小計		6.8	6.6	8.4	8.2	7.8	7.6
		地域・社会貢献度	地理的条件(地域精通度)	工事箇所である□□市内に所在 □□土木事務所管内に所在 県内に所在 上記以外	4.6 3.4 2.4 0.0	4.0 3.0 2.0 0.0	5.6 4.2 2.8 0.0		
			防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無 □□土木事務所との協定あり 大分県管理の公共施設を対象とした防災協定 上記以外	- 0.6 0.0	- 0.6 0.0	- 1.0 0.0		
県内企業の活用			当該工事に係る大分県内企業の活用計画 ※請負代金額500万円以上のすべての下請契約 【選択項目】当該工事に係る大分県産資材の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定 上記以外	1.8 0.0	2.4 0.0	1.4 0.0	2.0 0.0	2.0 0.0
県産資材の優先使用			※提示資材：□□□□ ※県産資材には県内企業からの購入を含む。 【選択項目】グリーン購入法対象製品の活用計画 ※提示資材：□□□□	提示した資材の県産活用割合が□□%以上 上記以外	0.6 0.0 0.6 0.0	0.6 0.0 0.6 0.0	0.8 0.0 0.8 0.0	0.8 0.0 0.8 0.0	0.8 0.0 0.8 0.0
※選択しない場合は、【県内企業の活用】に配点する。	提示したエコ製品の活用割合が□□%以上 上記以外		0.6 0.0	0.6 0.0	0.8 0.0	0.8 0.0	0.8 0.0	0.8 0.0	
加算点小計			7.6	6.6	9.4				
加算点合計		50.0	50.0	50.0					
施工体制評価点	入札価格が低入札価格調査基準価格以上 入札価格が低入札価格調査基準価格未満	15.0 0.0	15.0 0.0	15.0 0.0					
合計		65.0	65.0	65.0					

別表1 令和3年度 評価基準表〔標準例〕
【ワーク・ライフ・バランス推進型】

(建築工事) ※朱書きが変更箇所

【予定価格：5千万円以上2億円未満】

【予定価格：2億円以上3億円未満】

【予定価格：3億円以上5億円未満】

【予定価格：5億円以上】

評価視点	評価項目	評価基準	施工実績等評価タイプ		施工計画等評価タイプ		施工計画等評価タイプ		施工計画等評価タイプ		
			配点		配点		配点		配点		
			工事種別		工事種別		工事種別		工事種別		
			解体工事		解体工事		解体工事		解体工事		
企業の施工実績	過去10年間に履行した同種工事(解体工事)の施工実績の有無 ※解体工事は請負代金額1千万円以上の解体工事に限る。 ただし、民間工事は請負代金額2千5百万円以上に限る。 ※芸術文化短期大学(以下、「芸文短大」という。)発注工事はH28.4.1以降履行したものに限る。 ※看護科学大学(以下、「看護大」という。)発注工事はH30.4.1以降履行したものに限る。	1課題毎に最大5つまでの提案を求め、1提案毎に0点か1.0点若しくは2.0点で評価する。	1.3		1.3		2.6		2.6		
	過去5年間の工事実績評定点の平均値	82点以上 80点以上82点未満 78点以上80点未満 76点以上78点未満 74点以上76点未満 上記以外(成績なし)	1.0		1.0		2.0		2.0		
	ワーク・ライフ・バランス関連の認定・表彰等	国の認定又は県の表彰の実績あり 国の認定又は県の表彰の基準となる計画等の策定・届出、登録あり 上記以外	0.2 0.1 0.0		0.2 0.1 0.0		0.4 0.2 0.0		0.4 0.2 0.0		
	指名停止措置の有無	指名停止措置なし 指名停止措置あり(3箇月未満) 指名停止措置あり(3箇月以上)	0.0 -0.2(減点) -0.5(減点)		0.0 -0.2(減点) -0.5(減点)		0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)		0.0 -0.4(減点) -1.0(減点)		
	【選択項目】過去2年間の「□□部契約後VE提案採用」の有無	実績あり 上記以外	0.1 0.0		0.1 0.0		0.2 0.0		0.2 0.0		
	加算点小計		2.5		2.5		5.0		5.2		
	配置予定技術者の能力	過去10年間に主任(監理)技術者又は現場代理人として履行した同種工事(解体工事)の施工経験の有無	国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事の実績あり 国又は大分県(芸文短大・看護大含む)発注工事以外の公共工事の実績あり 上記以外	1.4 1.1 0.0		1.4 1.1 0.0		2.8 2.2 0.0		2.8 2.2 0.0	
		主任(監理)技術者の保有する資格	1級建築施工管理技士又は1級土木施工管理技士の資格保有 2級建築施工管理技士又は2級土木施工管理技士の資格保有 上記以外	0.9 0.5 0.0		0.9 0.5 0.0		1.8 1.0 0.0		1.8 1.0 0.0	
		過去4年間の工事実績評定点の最高値	85点以上の評価あり 80点以上85点未満の評価あり 75点以上80点未満の評価あり 上記以外(成績なし)	0.8 0.6 0.4 0.0		0.8 0.6 0.4 0.0		1.6 1.2 0.8 0.0		1.6 1.2 0.8 0.0	
		令和元年度・令和2年度・令和3年度の優良工事担当履歴	大分県優良建設業者 土木建築部長表彰の受賞あり	0.2		0.2		0.4		0.4	
※発注する解体工事での受賞のみ評価対象とする。 ※主任(監理)技術者として従事した工事に限る。		大分県優良建設業者 工事検査室長表彰又は土木事務所長表彰の受賞あり 上記以外	0.1 0.0		0.1 0.0		0.2 0.0		0.2 0.0		
CPD(継続教育)の取組状況		取組あり(各団体推奨ユニット数以上) 上記以外	0.5 0.0		0.5 0.0		1.0 0.0		1.0 0.0		
技能者(建設マスター・登録基幹技能者)の活用		活用計画あり 上記以外	0.4 0.0		0.4 0.0		0.8 0.0		0.8 0.0		
加算点小計			4.2		4.2		8.4		8.2		
地域・社会貢献度		地理的条件(地域精通度)	工事箇所である□□市内に所在 □□土木事務所管内に所在 県内に所在 上記以外	2.0 1.5 1.0 0.0		2.0 1.5 1.0 0.0		4.0 3.0 2.0 0.0		4.0 3.0 2.0 0.0	
		防災活動等による貢献	大分県管理の公共施設を対象とした防災協定の有無	□□土木事務所との協定あり 大分県管理の公共施設を対象とした防災協定 上記以外		- 0.3 0.0		- 0.6 0.0		- 0.6 0.0	
	県内企業の活用	当該工事に係る大分県内企業の活用計画	県内元請施工又は県内企業から下請負人を選定 上記以外		0.7 0.0		1.4 0.0		2.0 0.0		
	※提示資料：□□□□	提示した資料の県産活用割合が□□%以上	0.3		0.3		0.6		0.6		
	※提示資料：□□□□	提示した資料の県産活用割合が□□%以上	0.0		0.0		0.0		0.0		
	※提示資料：□□□□	提示した資料の県産活用割合が□□%以上	0.3		0.3		0.6		0.6		
	※提示資料：□□□□	提示した資料の県産活用割合が□□%以上	0.0		0.0		0.0		0.0		
	加算点小計		3.3		3.3		6.6		6.6		
	加算点合計		10.0		20.0		40.0		50.0		
	施工体制評価点	入札価格が低入札価格調査基準価格以上	15.0		15.0		15.0		15.0		
入札価格が低入札価格調査基準価格未満		0.0		0.0		0.0		0.0			
合計		25.0		35.0		55.0		65.0			

別表1 令和3年度 評価基準表 [標準例] (例: 土木工事【予定価格: 2億円以上3億円未満】)
【ワーク・ライフ・バランス推進型】

Table with columns: 評価視点, 評価項目, 評価基準, 施工計画等評価タイプ (配点, 工事種別). Rows include 施工計画, 企業の施工実績, 企業の技術力, 地域・社会貢献度.

【タイプ変更】 『施工計画』部分を削除し、実績タイプと同じ評価基準の配点(10点満点)とする。

Table with columns: 評価基準, 施工実績等評価タイプ (配点, 工事種別). Rows include 企業の施工実績, 企業の技術力, 地域・社会貢献度.